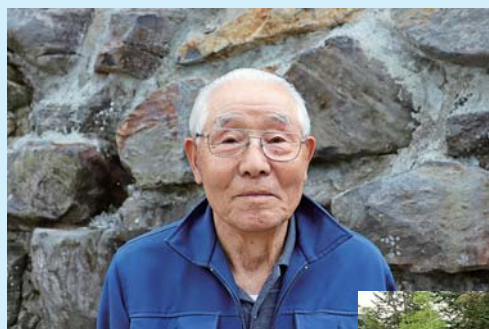


だいせつざん
第1回 清水敏一大雪山賞決まる
大雪山の振興と発展に貢献された3者へ授賞

町は、大雪山文化の振興に情熱を注がれた清水敏一氏（昨年3月に逝去）よりいただいた寄付を原資に「大雪山文化振興基金」を設置し、大雪山の豊かな自然と、そこから生まれる美しい風景・風土・暮らし・学術的価値を町の財産として共有し、後世に伝える事業を実施することとしました。その一つとして、大雪山の振興と発展に貢献された個人・団体を表彰する「清水敏一大雪山賞」を創設。6月15日に開催された「第66回 旭岳山の祭り」に合わせ、記念すべき第1回目の受賞者として下記3者の表彰式を行いました。



〈個人の部〉 庄内 孝治さん（東川町在住）

受賞理由：長年にわたる大雪山の遭難救助活動、東川山岳会代表としての大雪山振興に対して

コメント：1957（昭和32）年に初めて遭難救助に携わって以来、先輩の背中を追い続けながら、遭難の対応を続けてきました。1968（同43）年に旭岳ロープウェイができてから5年ほどは毎年正月に遭難があり、家で正月を過ごした記憶はありませんが、人の命には代えられません。一緒に対応した仲間のおかげで今があります。本当にありがとうございました。



〈団体の部〉

東川町大雪山愛護少年団

受賞理由：大雪山の清掃活動、環境保護や青少年の健全な育成に対して

コメント：大雪山旭岳やその周辺の環境をより良くするために、登山道の整備や清掃など、さまざまなことに取り組んできました。今回、このようなかたちで評価していただき、とても嬉しく、今後の大きな励みとして、これからも東川町大雪山愛護少年団としてそれぞれの活動に精進したいと思います。



〈団体の部〉

かわむらかねと
川村カ子トアイヌ記念館

受賞理由：大雪山の安全を祈る伝統儀式ヌプリコロカムイノミの継承に対して

コメント：半世紀以上続いたこのヌプリコロカムイノミの儀式と大雪山の歴史を今後も皆さまと一緒に守り、継承していきたいと思います。

▼川村カ子トアイヌ記念館
（旭川市北門町11丁目）



清水敏一さんについて

清水さんは登山家として活躍しながら、山岳史家として小泉秀雄や大町桂月など大雪山にゆかりの人物を歴史の中から掘り起こし、著書を刊行するなどして世に広く紹介してきました。

2016（平成28）年に東川町に移住するとともに、収集した大雪山に関する膨大な文献や資料を町に寄贈。晩年は大雪山の調査・研究を続けながら多くの人に解説を行いつつ、大雪山文化を紹介する展示や講演会を企画し、大雪山の魅力を伝え続けました。この貴重な資料群は、せんとびゅあⅡ「大雪山アーカイブス」でご覧いただけます。



©Thanayaporn Wongtitirote (Pearl)